

その他ア

名古屋市都市計画マスタープラン2030
地域別構想 金山編(案) について
(報告)

1. 趣旨
2. 現在の主な都市計画の状況
3. 地域別構想 金山編(案)の内容
4. スケジュール

1. 趣旨
2. 現在の主な都市計画の状況
3. 地域別構想 金山編(案)の内容
4. スケジュール

名古屋市都市計画マスタープラン2030における〈重点的にまちづくりを展開する地域〉のひとつ

金山

名古屋駅に次ぐ交通拠点としての機能に加え、商業・業務機能、文化・芸術機能、防災機能などを兼ね備える便利で国際的な交流拠点を形成します。

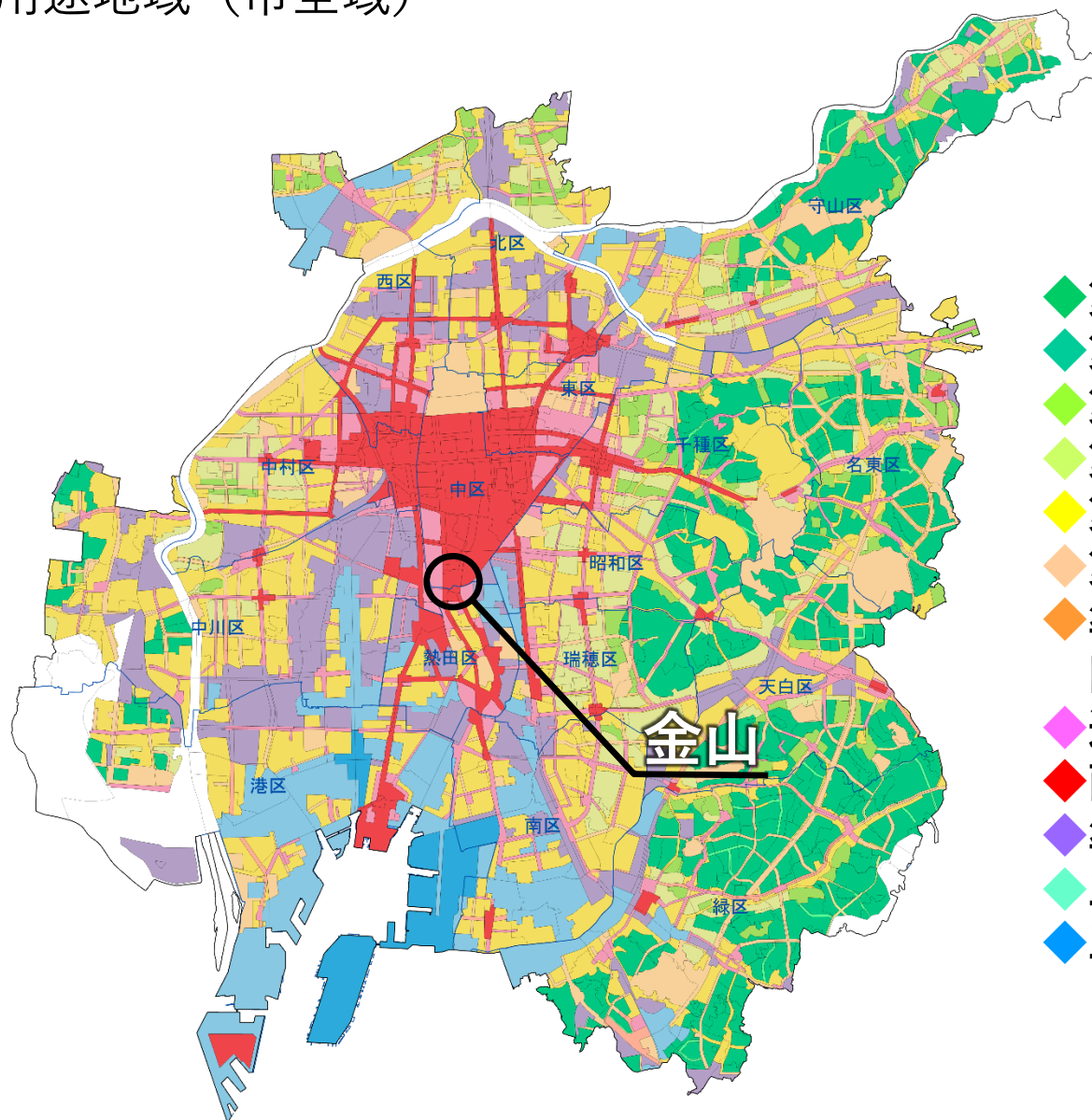
- これまで培われてきたにぎわいとうるおいの継承とさらなる発展
- 地域の特徴である文化芸術や創造拠点としての取り組みを、個性的で創造的なまちづくりとして展開
- 防災力の強化による地域のポテンシャルの向上
- 交通結節点としての機能強化による拠点性の向上



- ・金山地区で、地域別構想 金山編を定めることにより、都市計画マスタープランの一部として、まちづくりの方針を行政、開発事業者、住民・団体等と共有する
- ・今後の様々な都市計画手法の活用なども視野に入れ、事業や取り組みをより一層推進させる

1. 趣旨
2. 現在の主な都市計画の状況
3. 地域別構想 金山編(案)の内容
4. スケジュール

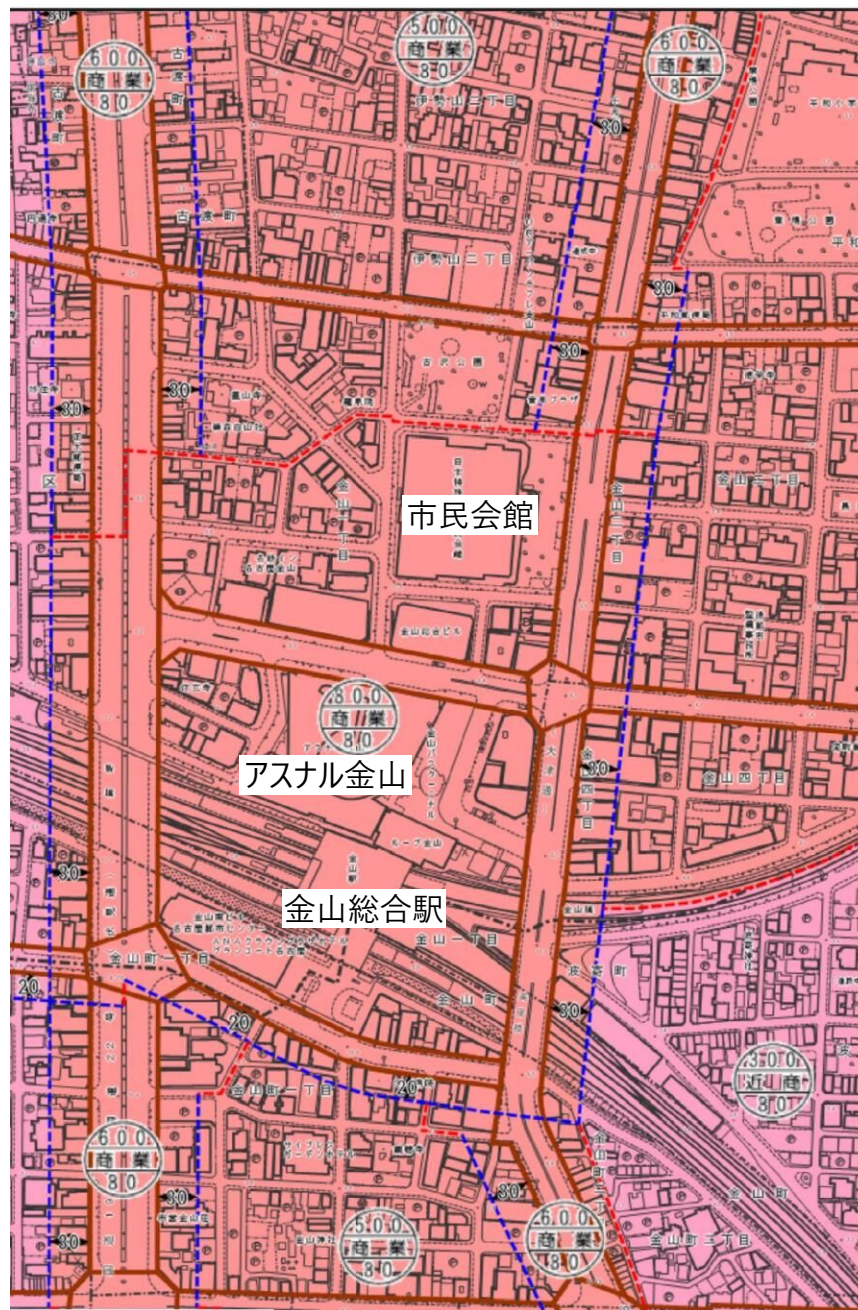
○用途地域（市全域）



- ◆ 第1種低層住居専用地域
- ◆ 第2種低層住居専用地域
- ◆ 第1種中高層住居専用地域
- ◆ 第2種中高層住居専用地域
- ◆ 第1種住居地域
- ◆ 第2種住居地域
- ◆ 準住居地域
- 田園住居地域(名古屋市指定なし)
- ◆ 近隣商業地域
- ◆ 商業地域
- ◆ 準工業地域
- ◆ 工業地域
- ◆ 工業専用地域

(令和2年12月時点)

○用途地域



- 商業地域
- 近隣商業地域

○都市施設
(都市計画道路)



・都市計画道路

- ① 3・5・150古渡松風線
(2車線 幅員15m)
- ② 3・2・58向田町線
(6車線 幅員30m)
(4車線 幅員20m)
- ③ 3・4・149秋竹線
(2車線 幅員20m)
- ④ 3・1・20伏見町線
(10車線 幅員50m)
- ⑤ 3・2・42大津町線
(4車線 幅員30m)

○都市施設
(都市計画公園
都市計画駐車場)



・都市計画公園

⑥ 古沢公園

⑦ 葉場公園

⑧ 金山公園

⑨ 長岡公園

・都市計画駐車場(自動車)

⑩ 古沢公園駐車場

⑪ 金山南駐車場(未整備)

⑫ 金山駅南駐車場

・都市計画駐車場(自転車)

⑬ 金山駅南口駐車場

1. 趣旨
2. 現在の主な都市計画の状況
3. 地域別構想 金山編(案)の内容
4. スケジュール

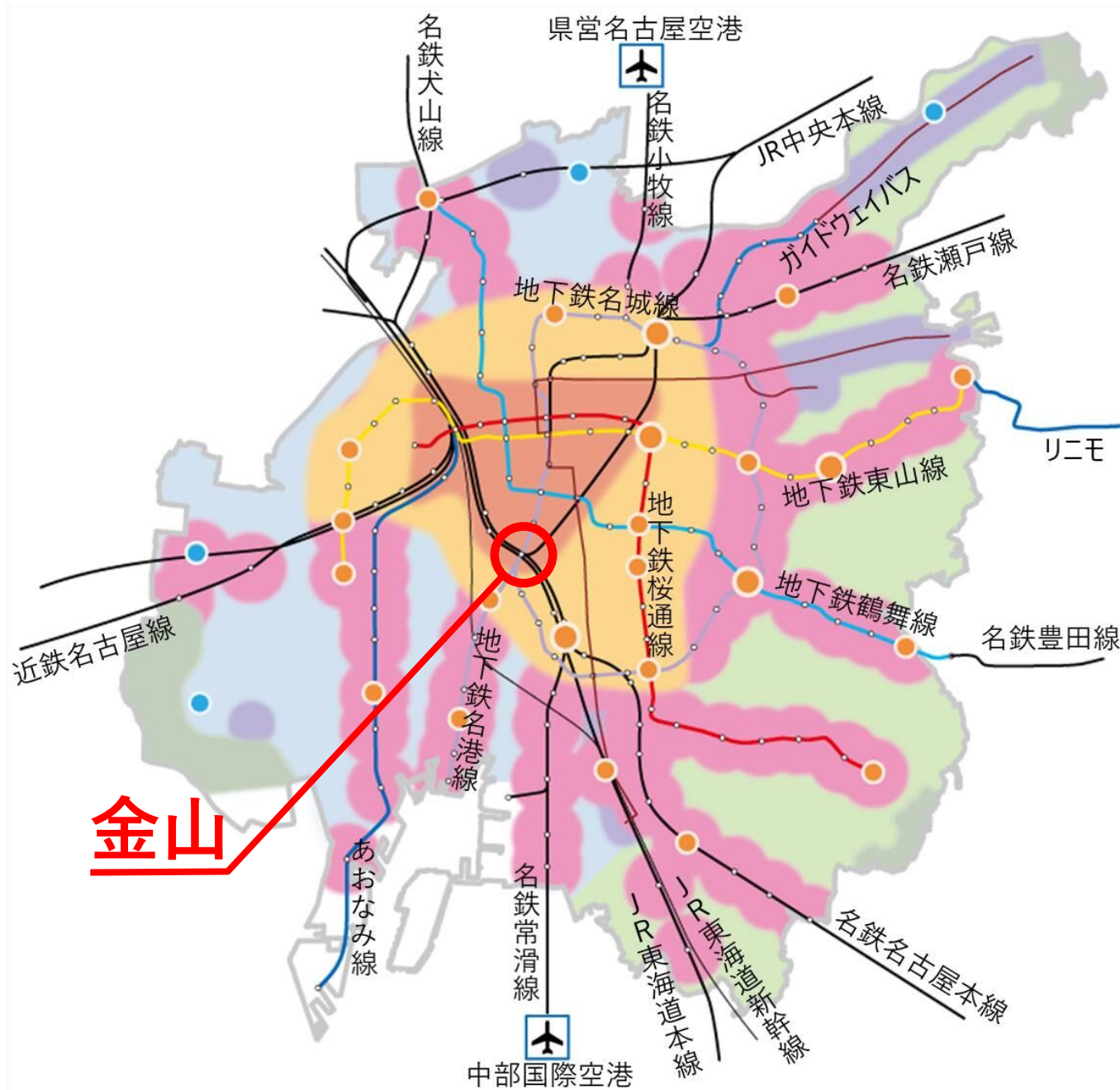
金山駅周辺まちづくり計画（案）の構成

- 1 目的
- 2 現状と課題
- 3 まちづくりのコンセプト
- 4 まちづくりの方針
- 5 取り組み
- 6 まちの将来イメージ

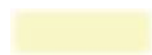
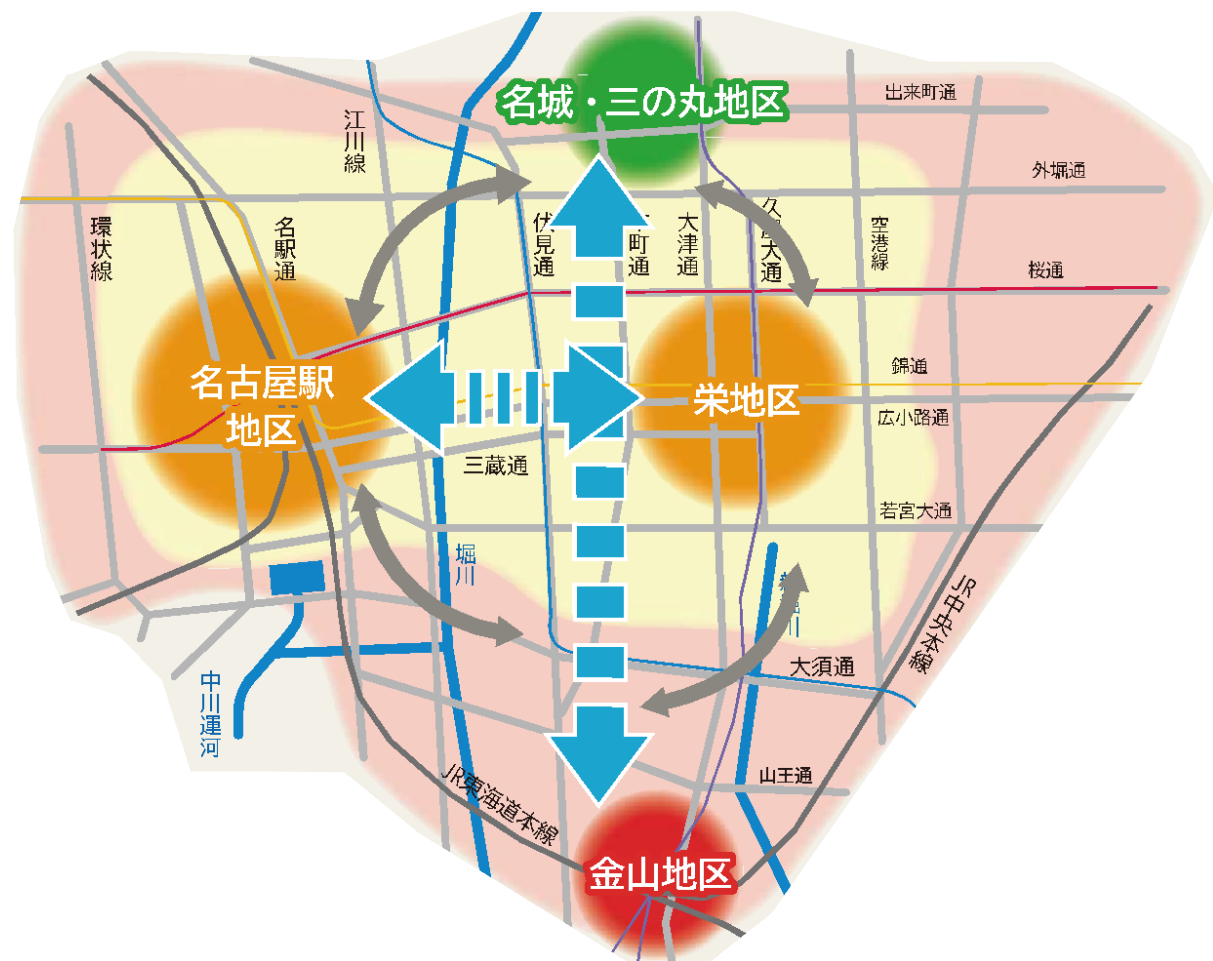
上記まちづくり計画（案）のうち、1～4 及び 6 を名古屋市都市計画マスタープラン2030において、地域別構想 金山編として位置付ける

※地域別構想

都市レベルの内容を記載した都市計画マスタープランの全体構想を踏まえ、
地域レベルの内容を記載



地域住民、地元団体、民間企業、行政等で共有できるまちの将来像を示し、官民協働による取り組みにより、名古屋駅・栄とは異なる金山ならではの魅力をより一層高める



都心部



都心ゾーン



都心ゾーンにおける拠点間の連携軸

この画像は、金沢市の様々な公共空間とイベントを紹介する4つの写真の縦列です。

- 最上段: 金沢駅（金山総合駅）の内部。大きな天井から「POMPEI」の展示のポスターが吊るされています。多くの人々が行き交っています。
- 2段目: 物産展（物産展示）の会場。赤と白のチェック柄のテーブルが並び、地元産品が並べられています。背景には「北東北の観光と物産展」という看板があります。
- 3段目: 金山南ビル（金山南ビル）の外観。現代的なデザインと大きなガラス窓が特徴的な高層ビルです。
- 最下段: 駅南口エリア（駅南口エリア）での地域団体が主催するイベント。屋台やブースが並び、人々が集まっています。



金山駅周辺まちづくり計画(案)

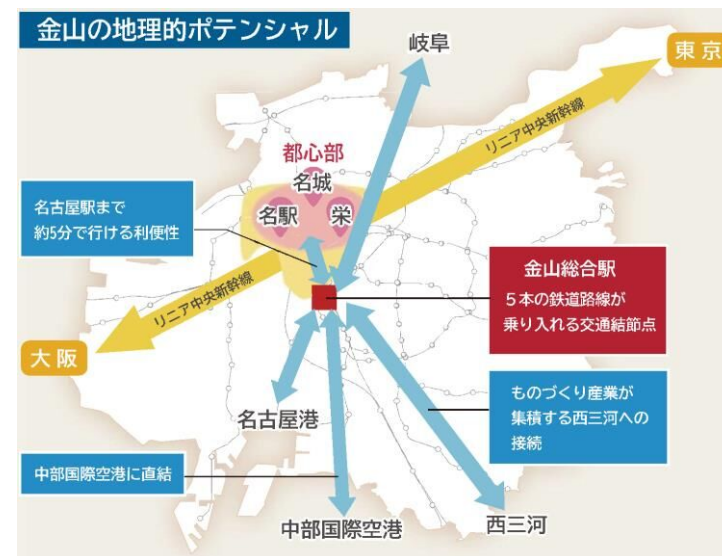
1 金山を取り巻く状況

市内有数の 交通結節点	・金山総合駅は市内有数の交通結節点 ・中部国際空港に直結 ・乗降客数 48万人／日
多核的な 拠点の形成	・金山の拠点性をさらに強化し、名古屋駅・栄とあわせて多核的な拠点の形成を図る必要
アジア・アジパラ 競技大会の開催	・2026年にアジア・アジパラ競技大会が愛知・名古屋で開催 ・交通結節点である金山に多くの来訪者の見込み
リニア中央新幹線 の開業	・三大都市圏が一体化し、世界最大の人口を有する巨大交流圏が誕生 ・産業や人々の生活に大きな変化が想定

2 金山駅周辺の課題等

【再整備にあたっての課題】

地区 ポテン シャル	・市内各所に加え、中部国際空港に直結し、西三河や岐阜方面との結節拠点としての地理的な優位性を最大限に活かす必要がある
土地 利用の 状況	・周辺建物の老朽化等の課題のなか、機能更新が進まず、民間開発の促進が求められている
回遊性	・来訪者の行動範囲は駅を中心に限定的であり、回遊性の向上が求められている
公共空間の 利活用と適切 な維持管理	・駅を中心に連続的な人の流れを生み出すような利活用や維持管理体制の構築が求められている
まちなかでの 文化芸術 活動の推進	・駅周辺の文化芸術施設の集積にも関わらず、施設間の連携が不十分であり、施設間の連携や一体的な取り組みにより、文化芸術をまち全体へ広げる必要がある



人・文化・芸術とともに育つまち

～ にぎわいと感性あふれる交流創造の場づくり ～

【目指す姿】

アスナル金山の再整備や新たな劇場の整備とあわせ、交通結節点に相応しい都市機能の集積や多様な文化芸術に触れられるウォーカブルなまちの形成を目指し、金山駅周辺地域全体の価値向上やブランディングを図る

都市機能の集積	・駅前に都市機能を効果的に集積させ、にぎわいや交流の更なる発展
交通結節点 としての 機能強化	・駅利用者の利便性向上等による機能強化 ・大規模地震や大雨による災害発生時の、地域防災力の強化
ウォーカブルなまち の形成	・道路やオープンスペース等の都市基盤をウォーカブルなまちに資する空間へ再編し、アスナル金山のもつ界限イメージを継承し地域全体へ拡大を図る ・オープンスペースは様々な活動ができる空間として積極的に活用 ・まちなかでくつろげる滞在空間・時間を持てる環境の創出
人・文化・芸術の 交流創造	・新たな劇場を整備し、3ホールを核とした、文化芸術の浸透 ・まちに開かれた新たな劇場とまちとの連続性を確保し、金山らしさを発展・拡大 ・創造的な活動を行う様々な人材が集い交流し、刺激し合う場を創出

【ウォーカブルなまちの形成イメージ①】



【ウォーカブルなまちの形成イメージ②】



図はイメージであり、引き続き関係者と協議・調整を進めるもの

金山駅周辺まちづくり計画(案)

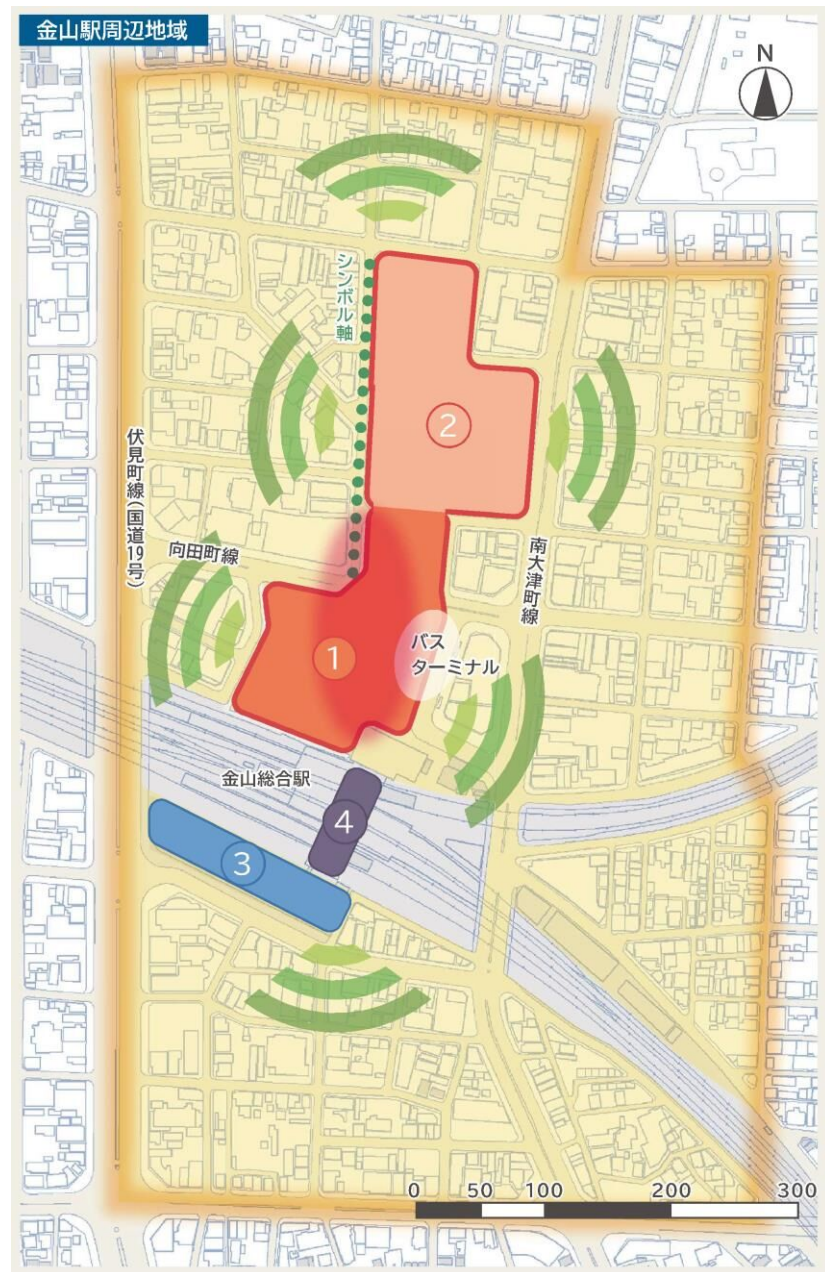
【エリアの考え方】

① アスナル金山エリア

- ・金山らしい都市機能を集積させた、多様な人が集い楽しむ駅前のにぎわい交流拠点としての駅前空間を整備
- ・金山総合駅と新たな劇場をつなぐ空間を形成
- ・アスナル金山エリアと、新たな劇場との一体的な空間創出

② 古沢公園・市民会館エリア

- ・人と文化が行き交う文化芸術交流拠点を目指すため、まちに開かれた新たな劇場を整備
- ・古沢公園街区と市民会館街区の一体的な利活用による魅力あふれる空間の形成



【エリアの考え方】

③ 駅南口エリア

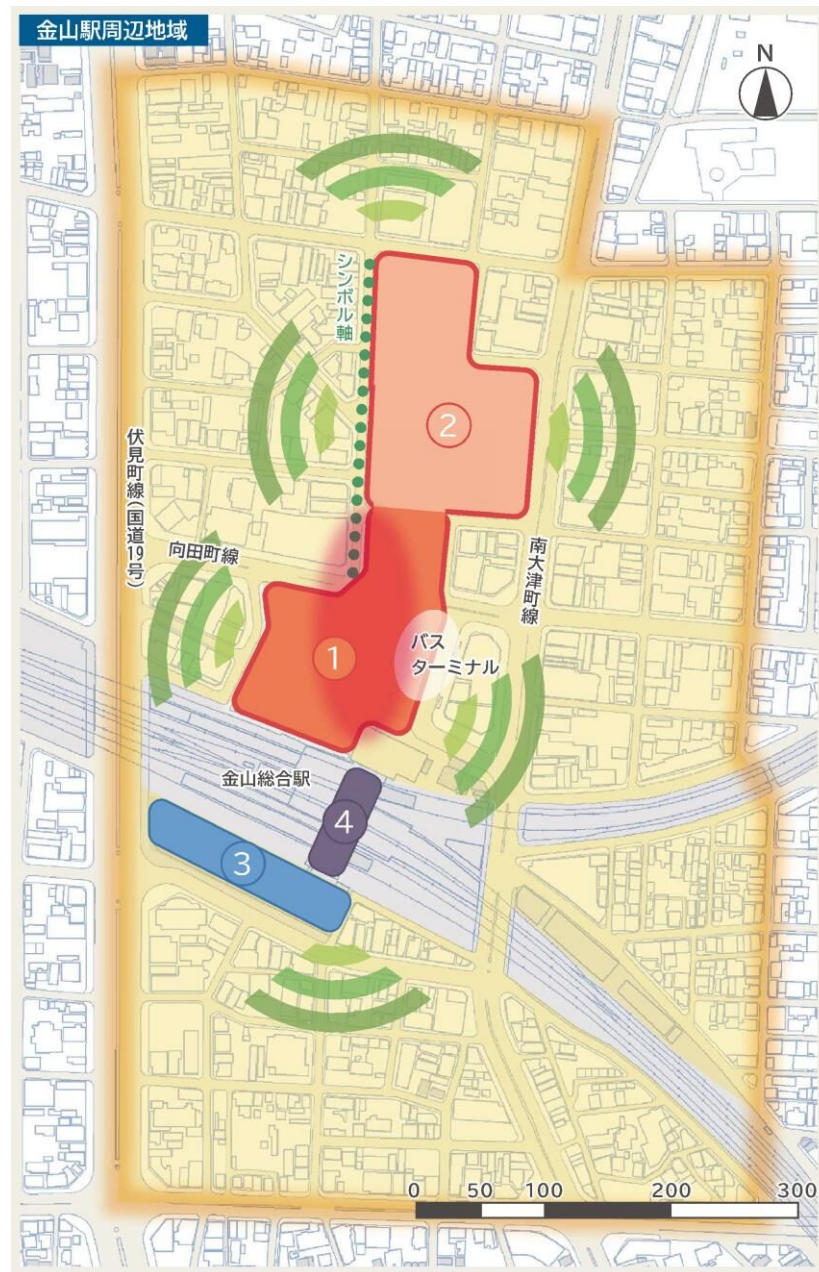
- ・地域のにぎわい創出の取り組みが継続的に行われるよう、エリアマネジメントにより、地域と協働しながら適切に維持管理

④ 金山総合駅連絡通路橋

- ・乗換利便機能に加え駅南北地区のにぎわいをつなぐ施設として利活用を図り、エリアマネジメントを展開

●ウォーカブル界限

- ・居心地が良く歩きたくなるまちなかを形成するため、公共空間に加え、沿道建物を含む地域全体のグランドレベルのにぎわいを創出



【歩行者動線・自動車交通の考え方】

歩行者動線	・歩行者動線の強化や滞在空間の創出により、回遊性の向上や周囲へのにじみだしを図る ・東雲東古渡町線をシンボル軸として位置づけ、新たなにぎわいの象徴とする ・駅から新たな劇場までの見通しを確保
自動車交通	・ウォーカブルなまちの形成を見据えた適切な車両動線とする ・公共交通の自動車動線に配慮し、利便性を確保 ・駐車場機能は、公共交通機関利用者、周辺地域の状況等を鑑みた対応を図る

2 実現に向けた進め方

ビジョンの共有	・地域住民、地元団体、民間企業、行政等と官民連携したまちづくりを進めるための新たなビジョンを作成
官民連携手法の導入	・民間事業者のノウハウや資金の活用による、にぎわいあふれる魅力的なまちの形成 ・文化芸術に係る活動や団体・学校等との連携による、感性あふれる文化芸術交流拠点の形成
エリアマネジメントの推進	・公共空間や建物などを新たな魅力・価値を生み出す地域資源として利活用し、居心地が良く歩きたくなる空間の創出に向けたエリアマネジメントの推進 ・エリアマネジメント活動が継続される組織や連携の仕組みづくり

3 主な配慮すべき視点

環境	・カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み等による持続可能な未来に向けた環境負荷が少ないまちづくり
ユニバーサルデザイン	・多様な人々の利用に配慮した、誰もが使いやすい交通結節点としての機能を確保
情報発信	・まちの魅力発信による回遊性・滞在性の向上に資する仕掛けづくり ・デジタル技術等の導入により地域の魅力をさらに引き出す取り組みの推進
土地の有効利用	・民間開発の促進による、都市機能の高度化及び居住環境の向上
駐車場	・エリア周辺の駐車場需要や施設計画を踏まえ、適切な規模の駐車場を配置
景観	・骨格となる道路等について、誰もが歩きたくなる景観の形成 ・広場やオープンスペース等において、文化芸術のまちなみが感じられるような景観の形成
防災	・情報提供機能の充実による災害時の滞在者・来訪者の安全確保 ・金山駅周辺地区エリア防災計画に基づく退避施設の拡充等、帰宅困難者対策への配慮

【ウォーカブルなまちの
構成イメージ】

ウォーカブル・ストリート

並木やまちなみを楽しみ、様々な
アクティビティの誘発や文化に
触れあえるまちのシンボル

ウォーカブル・プラザ

様々なイベントや出会いを生み出
す交流の場

【駅を中心に配置】

ウォーカブル・スポット

市有地におけるイベントやエリア
マネジメントによる取り組みを契
機に地域全体においても日々の楽
しみを育む開放的スポット

【まちに点在・複数展開】

ウォーカブル界限

まちの奥行きを拡げ新たな発見
を生み出す駅周辺のエリア



【想定される文化芸術の施策展開】

金山駅周辺の文化芸術施設の連携

新たな劇場(3ホール)を中心に、金山駅周辺の文化
芸術施設や地域団体が連携した催し等により、文化
芸術の推進とまちの回遊性の向上を図る

劇場施設等の連携

新たな劇場(3ホール)及び音楽プラザが連携する
イベントを実施し、文化施設間の交流を図る

アスナル金山エリアでの連携

アスナル金山エリア内で連携して催しや広報を展
開し、駅前のにぎわい創出を図る

金山南ビル美術館棟との連携

金山南ビル美術館棟の展示内容と関連性が高い催
しを第3ホールでも開催し、駅前の集客性を活かし
た文化芸術の浸透の相乗効果を図る

広場等を活用した文化芸術活動

金山駅周辺の広場・オープンスペースを活用したコ
ンサート等をまちなかで展開し、文化芸術の浸透と
まちの魅力向上を図る

- 1．趣旨
- 2．現在の主な都市計画の状況
- 3．地域別構想 金山編(案)の内容
- 4．スケジュール

令和6年 10月～11月 金山駅周辺まちづくり計画(案)の市民意見募集

11月

都市計画審議会への報告「地域別構想 金山編(案)」

←今回

令和7年 1月頃

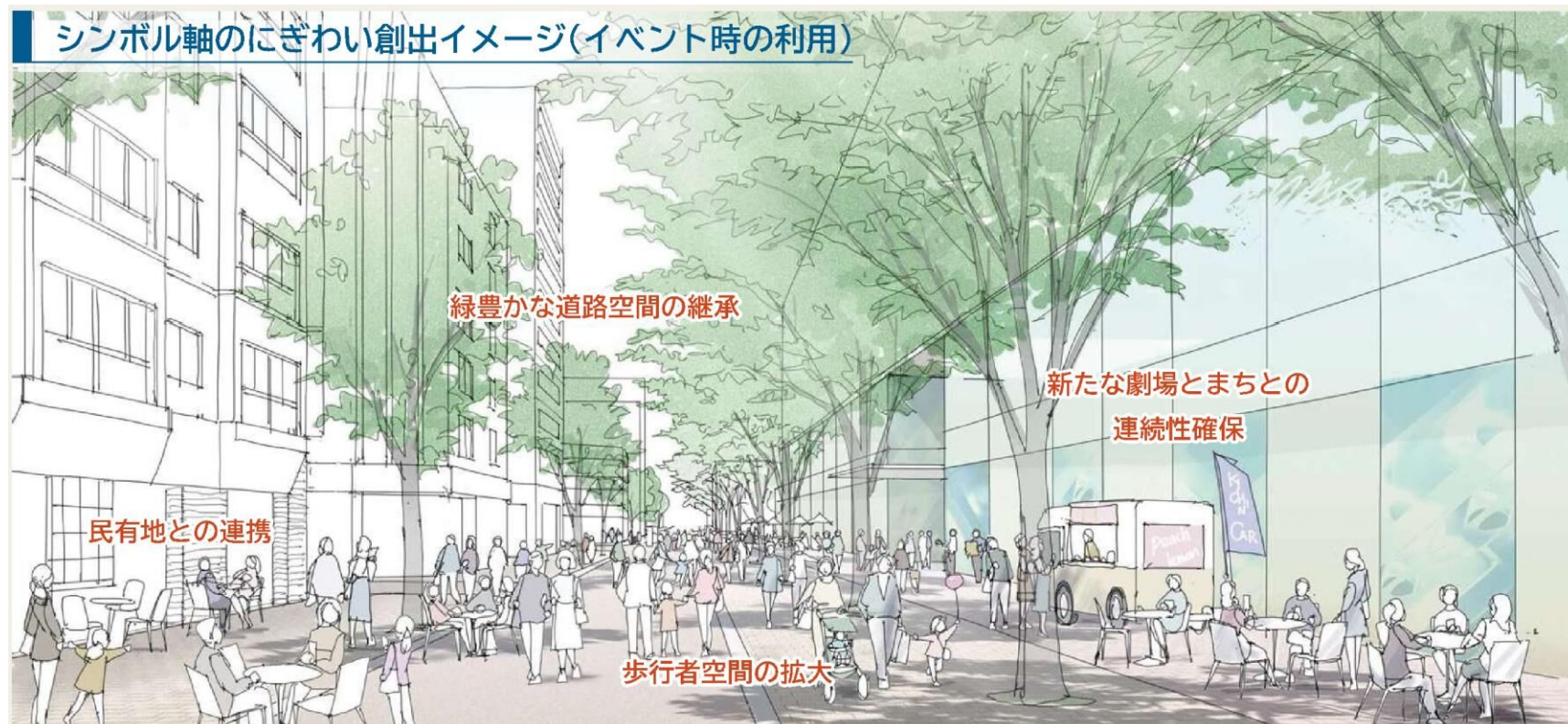
都市計画審議会への諮問「地域別構想 金山編(案)」



金山駅周辺まちづくり計画の策定に合わせて、地域別構想
金山編を公表

【道路空間の再編や利活用】

- ・都市再生特別措置法や歩行者利便増進道路等の制度活用により、道路や駅前広場等における居心地が良く歩きたくなる公共空間を創出



図はイメージであり、引き続き関係者と協議・調整を進めるもの